

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビステ伊集院		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月7日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による評価が行え、困り感へアプローチした活動内容が行う事ができている。	専門職による個別の活動を行い、小集団でも専門職の意見を取り入れながら活動を行っています。	専門職が中心となって研修を行っています。参加者より伝達研修を行っています。
2	児童の苦手なことをスモールステップで取り組み、楽しみながら活動を行えるよう、活動内容を工夫しています。	身体を大きく動かす運動の時間、言語や箸・ハサミなどの道具の使い方の練習を行う机上の活動の時間、絵本の読み聞かせなどで活動内容を構成し、遊びの中で楽しみながら取り組めるように活動内容を考えて取り組んでいます。	当事業所で児童が取り組むことができた内容等をご家族にメール・LINEにて報告しております。また、お家でも取り組める活動をSNSなどで情報提供したり、ご家族に対しては面談時にお伝えしています。
3	活動スペースが広く確保でき、運動時には様々な物を出して取り組むことが出来る。また、フロアを分けて低年齢児と分けて活動を行う事も可能となっている。	個別のフロアでは歩行の練習を行ったり、低年齢児に合わせた運動内容を別で行ったりと取り組んでいます。小集団フロアでは充実した運動内容が行えるようにプログラムを立案しています。	広いスペースを上手に活用し、子どもたちの楽しい気持ちを引き出して支援して参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間での交流機会などの場を設けることができない。	今年度は就学相談会など新しい取り組みを行いました。保護者様同士の交流会の機会まで設けることができていなかった。	親子でのふれあいの場が欲しい、親子活動があれば参加したいのご意見を頂きましたので、今後検討していきたいです。その中で保護者様同士の交流の場が持てるように取り組めたらと思います。
2	地域の方との交流のためのイベントの実施ができていない。	活動時間が1時間と限られた中で地域交流を行う事が難しいと感じている。	地域の方が参加できる行事を行ったり、地域の施設へ出向くなどのイベントを活動の中で取り入れていきたいと思ます。
3	各種マニュアルを作成し職員に周知し訓練を行ってはいるが、保護者への周知まで至っていない。	マニュアルの全てを保護者への説明となると多くの時間を必要とするため、現状でより良い方法が確立できていなかった。	保護者の方が来所時に手に取って見れるような位置に置くことやホームページにてマニュアルを掲載するように対応を考えていきます。